

第2回「健全な成長をめざす生徒指導の在り方検討委員会」 についての報告

- 1 日 時 平成24年3月15日(木) 10:00~11:40
- 2 場 所 県庁2階202会議室
- 3 出欠状況 出席委員13名 欠席委員2名
- 4 会議概要

(1) プロジェクトチームチーフ葛西真記子鳴門教育大学大学院教授からの報告

① 配付資料

「プロジェクトチーム報告書」(別添資料1)

「不登校の解決に向けてー観察ポイントとチェックリストー」(別添資料2)

「不登校の未然防止に向けた小中学校の円滑な接続のために」(別添資料3)

② 報告概要

- ・本県の不登校の現状と課題について。
- ・「不登校の解決に向けてー観察ポイントとチェックリストー」を活用し、教職員が不登校の兆しを見逃さず、適切に対応するためのスキルアップを図るとともに、組織的に取り組む校内体制づくりに努めること。
- ・「不登校の未然防止に向けた小中学校の円滑な接続のために」を参考として、小中学校がきめ細かな連携を図ること。
- ・不登校児童生徒や保護者を支援するために、関係機関との連携を図ること。
- ・不登校未然防止対策について、継続的に、検証改善に努めること。

(2) 検討委員会委員からの主な意見

(委員)

- ・チェックリスト等を活用することで、比較的簡単に、子どもたちのわずかな変化を発見できるようになり、早期対応に結びつくことが期待できる。
- ・「君のこと教えてシート」は汎用性が高く、様々な生徒指導上の諸問題の未然防止につながるるとともに、保護者と情報を共有することで、一層の子ども理解が進むことが期待され、保護者の立場からも、心強い取組であると感じる。
- ・スクールカウンセラーがチェックリスト等を活用することにより、的確な児童生徒理解が促進されるとともに、学級担任の負担軽減にもつながる。
- ・チェックリスト等の効果的かつ適切な使い方について、教職員へ十分な説明を行い、実際の活用につながるよう、校長会等を通じて、周知徹底してほしい。

(委員長)

- ・委員の意見については、プロジェクトチームで十分に検討し、今後作成予定の「不登校の段階別対応ハンドブック」に反映させるとともに、県教育委員会には、これらの取組が一層の効果を上げるよう、工夫改善しながら、学校を支援してほしい。

(委員全員)

- ・プロジェクトチーム報告書等について了承。

(3) 今後の取組

- ・4月上旬に開催される、市町村教育委員会教育長会、小中高等学校の各校長会等において説明するとともに、各学校に印刷製本した資料を送付し、不登校解決に向けた効果的な取組の推進に努める。
- ・総合教育センターで行われる各種研修講座の中に、不登校児童生徒に対する研修を位置づけ、チェックリストやシートの効果的な活用方法を紹介しつつ、教職員の指導力の向上を図る。